

明日への糧に 振り返る県勢この一年



ジェット化された花巻空港の大阪便（11月）



史上初の5連覇日本一を達成した決
▼勝戦の新日鉄釜石ラグビー（1月）



▲初の洋上研修が行われた少年の船（1月）

昭和58年 （1983） 県勢ビッグテン

- 1 花巻空港ジェット機就航、東北自動車道青森線本県縦断、新幹線水沢・花巻両新駅の設置決定、高速交通網さらに充実
- 2 久慈市など県内各地で林野火災発生、全国から心温まる救援物資、義援金等贈らる
- 3 県行政改革推進本部の設置など県版行革が本格的に始動
- 4 水稲4年ぶりで平年作を取り戻し、農村に活気よみがえる
- 5 中村知事二期県政スタート、新しい県総合発展計画の策定を諮問
- 6 新日鉄釜石ラグビー日本一5連覇、日蔭暢年選手世界柔道選手権金メダル、佐々木七恵選手東京国際女子マラソン制覇、菊池勝彦選手国体走り幅跳び優勝等、岩手のスポーツ人大活躍
- 7 御所湖広域公園オープン、国際級漕艇場完成、県民の余暇利用、健康増進、競技力強化施設の整備進む
- 8 東芝、富士通、松下通信など優良企業の進出・拡張相次ぎ、本県先端技術産業の集積高まる
- 9 少年の船期待と希望を乗せて初出航、県北青少年の家開所など青少年の健全育成さらに前進
- 10 県営北ノ又発電所完成、ローカルエネルギー開発進む

昭和58年も残るところわずかです。この一年間いろいろなことがありました。

空の玄関、花巻空港に待望のジェット機が就航し、東北自動車道が県土を縦断、新日鉄釜石ラグビーの5年連続日本一の偉業達成などの明るいニュース。半面、久慈市をはじめ県内各地で林野火災が相次ぎ、住

宅や農林水産関係に大きな被害をもたらしたのは記憶に新しいところです。

こうした中、来年4月に開業する三陸鉄道はレールが結ばれ、今月から試運転が開始されるなど着々準備が進んでいます。

本号ではこの一年を振り返り、明日の岩手の発展の大きな糧としたいと思います。

C-9型は旅客定員128人、貨物の積載量6トで、これまで運航しているYS-11型プロペラ機に比べ、定員が2倍、積載量は3倍に増えました。

日本石英硝子株式会社が岩手中部金ヶ崎工業団地に進出を決定、8日には調印式が行われました。

国鉄の第2次廃止対象路線となった岩泉線について、県は廃止選定基準としての代替道路が条件を満たしていない——として全国で初めて運輸大臣に「特定地方交通線に承認しないよう措置してほしい」との知事意見書を提出したのが15日です。

統一地方選挙で16日に県知事、29日には県議会議員選挙が告示され、県内は選挙一色に塗りつぶされました。

4月 県高次救急センターにドクターカーが配備されたのが1日。同日、花巻空港の花巻—札幌間にもジェット機が就航。7日には初の国際チャーター便が香港に向

けて飛び立ちました。

10日の知事選挙で中村知事が再選され、県民総参加の、県民のための開かれた県政を進める第二期中村県政がスタートしました。

そして異常乾燥、強風注意報下の27日、県内各地で林野火災が相次ぎ、久慈市での住家45戸61世帯

の全焼をはじめ、農林水産関係などに総額50億円を超える大きな被害をもたらしました。県では同日、災害対策本部を設置し、災害救助法の適用などの応急対策や復旧に全力を挙げました。全国各地からは救援物資や義援金などの温かい励ましが寄せられました。

1月 暖冬で穏やかに明けた新年は、昨年開業した東北新幹線で帰省した人たちの首都圏へのUターン・ラッシュで始まりました。

次代を担う小、中、高校生がともに洋上生活を通じて協調性や連帯意識を高めることを目的とした本県初のいわて少年の船が静岡県清水港から397人の団員を乗せ、大船渡港に向けて出航したのが11日。続いて、青年たち349人の限らない友情と夢を乗せた第3回県青年の船が13日、沖縄県や東南アジアに向け16日間の航海に旅立ちました。そして、29日には昨年に続く第2回岩手の婦人の船が399人を乗せ大船渡港を出航し、洋上研修の旅に就きました。

新日鉄釜石ラグビーチームが成人の日の15日、大学の覇者同志社を21対8の大差で破り、5年連続、通算6度目のラグビー日本一に輝きました。5年連続日本一は大会史上初の偉業です。

本県の行政改革について調査を行っていた財団法人地方自治協会から岩手県行政事務運営改善調査報告書の総論編が提出されたのは31日です。

花巻空港に待望のジェット機が就航

空の玄関花巻空港に初めてジェット機が着陸したのが20日。3月1日のジェット化開港に向けて試験飛行が続けられました。

2月 県が1月14日に受理した岩手県私立学校教育助成条例制定の直接請求に基づく県議会臨時会が招集されたのは3日。福祉文教、総務常任委員会の連合審査を受けて採決の結果、賛成少数で否決されました。

17日から20日にかけて県北、沿岸部を中心に降り続いた大雪。漁港施設など水産関係をはじめ、各地で大きな被害がありました。

3月 1日、待望のジェット機が花巻空港に就航し、花巻—東京間往復2便で本県も空の高速大量交通時代を迎えました。就航したD

埼玉との交流深め各種行事を展開

5月 林野火災の早期復旧を訴えるため、6日には国会関係、政府関係機関に対し、財源措置など16項目について陳情しました。

ナイター施設などの大改造が終わったばかりの県営野球場のオープン記念で岩手・埼玉両県交流高校野球が行われたのは15日です。この試合は、東北新幹線開通で結ばれた本県と埼玉県の間県交流事業の一環で行われたものです。

地震による津波の恐ろしさを改めて教えられた日本海中部地震が発生したのは、この26日でした。

6月 県内初の大規模レクリエーション施設岩洞湖家族旅行村が1日にオープン。自然に親しみ、最近流行の“森林浴”の場として大勢の人たちが訪れました。7日には県内で初めての県立緑化センターの開所式が行われました。

来年10月に松尾村の県民の森で開催される第8回全国育樹祭の県実行委員会設立総会が開かれたのが17日です。“緑に力を、未来に夢を”が開催テーマになりました。

県立御所湖広域公園が25日に開園しました。開園式には畑埼玉県

林野火災で一瞬のうちに燃え上がった
▼久慈市玉の脇地区での消火活動(4月)



▼北上工業団地に進出決定した東芝電気との調印式(8月)



知事を迎えて、中村知事とお互いの県の木、南部赤松とケヤキの記念植樹などが行われ県際交流が一段と深まりました。

初の比例代表制を導入した第13回参議院議員通常選挙が行われたのは26日でした。

7月 県民の皆さんから生の声を直接知事が聴いて、それを県政に反映させようと**県政懇談会**が22日から始まりました。これまでの市町村単位を本年度から県内9ブロックの広域生活圏を単位として

優良企業相次いで本県に進出決定

8月 立秋の8日、7月の低温とは逆に猛暑が続き、冷害不安の農家をホッとさせました。しかし、15日現在の県内水稻の作況指数は98の「やや不良」と発表され、一抹の不安が残りました。

我が国有数の大手電気メーカー**東京芝浦電気**の北上工業団地進出が正式に決まり、調印式が22日に

開催。多くの皆さんから多数の意見や提言がありました。

県総合計画審議会に知事が、本県の21世紀を展望した新しい**県総合発展計画の策定**を諮問したのは25日のことです。県の行政改革を進める上で県民の幅広い意見を聴くため開催した**行革の集い**が、25日の花巻市を皮切りに県内9会場で行われました。

盛岡地方では**7月の真夏日**がゼロ。県内各地の農作物の生育状況が大いに心配された時期でした。

行われました。

28日に大阪で行われた世界初の盲人マラソン伴走付き50歳以上10キロの部で、盛岡市の三原正一さんが優勝したのはうれしいニュースでした。

9月 高速交通網も整備され、豊かな自然環境と労働力に恵まれている本県が積極的に進めている企

高冷地野菜の主流を占める
▼一戸町のレタス栽培(7月)



県版行革に反映させようと開かれた行革の集い(7月)



業誘致では、この月に3社の進出が決定。まず5日、電子機器製造メーカーの**株式会社大昌電子**が藤沢工業団地へ、8日にはロボット関連機器を製作する**株式会社妙徳**が江刺中核工業団地へ、そして、29日には電子部品製造メーカーの**帝国通信工業株式会社**が一関東工業団地に進出しました。

県の行政改革の在り方を検討してきた地方自治協会から、1月の総論編に続き各論に当たる報告書が提出されたのは19日。26日には知事を本部長とする**県行革推進本部**が県庁内に設置されました。

日本有数のボートレース場として24日に新装した**県立御所湖漕艇場**の完成記念招待ボートレースが日本トップクラスのクルーを招いて25日に行われました。

10月 スポーツの秋にふさわしい話題。モスクワで開かれていた世界柔道選手権78キロ級で、岩手県警の**日蔭暢年5段**が初優勝。国体では、少年B走り幅跳びで釜石南高

県高次救急センターに4月に配備されたドクターカーで搬送された患者



県営初の水路式、北ノ又発電所の本取水口(10月)



校の菊池勝彦選手が優勝、重量挙げ成年110キロ以上級で福崎君夫選手が国体4連覇、ボクシング成年でも3年連続3度目の優勝を遂げました。

20日、東北自動車道青森線の安代一鹿角八幡平間が開通し、本県を高速道が縦断すると同時に、秋田県との産業、経済、観光面での交流に期待がもたれています。

来年4月の開業に向けて順調な工事が行われている三陸鉄道の久慈線、愛称北リアス線の未開通区間田老一普代間の**レール締結式**が26日に小本駅構内で行われ、久慈から釜石までの沿岸北半分がつながりました。12月には盛一釜石間の盛線(南リアス線)で、吉浜一釜石間のレールも結ばれる予定で年内に新車両による試運転がそれぞれ行われることになっています。

県営では初の水路式で出力7,000キロワットの**北ノ又発電所**が完成したのは26日です。規模はあまり大きくありませんが、本県の電力自給率

向上に大きな威力を発揮します。60年に本県で開催される全日本ホルスタイン共進会を目指して、滝沢村の県畜産試験場内に建設する**総合催事施設の建設工事安全祈**

二戸市に県北青少年の家オープン

11月 花巻空港の大阪便が1日からジェット化され、DC9スーパー80型機が大阪に向けて初めて飛び立ちました。これで本県の空の便は、東京、札幌便に続いて大阪便と3航路でジェット化が実現。大幅な時間短縮により人的、物的交流がますます盛んになることが期待されています。

14日には、**21世紀の岩手を考える集い**が盛岡市で開催され、約300人が参加して講演とパネル討論が行われました。この集いは、59年度を初年度として策定される県の新しい総合計画に県民の皆さんの意向を反映させようと開かれたものです。

岩手郡雫石町に開園した本県2番目の御所湖広域公園(6月)



願祭は29日に行われました。今月15日現在の県内水稻の平均作況指数が99の「**平年並み**」と発表されたのが27日。4年ぶりの平年作が明るい見通しとなりました。

12月 青少年の健全育成を図ることを狙いに56年度着工した**県立県北青少年の家**が二戸市に完成します。屋内スケート場やプラネタリウムなども完備し、県北地区の社会教育、スポーツ振興の拠点として大きな期待が寄せられています。

今月中旬には、行政改革懇話会から本県の望ましい行政運営体制についての最終報告が予定されています。

※ ※ ※

空と陸の高速交通網が一段と整備された58年は、選挙の年でもありました。迎える59年は果たしてどんな年でしょうか。素晴らしい一年になることを願うものです。